

『袖珍・英和節用集』と『英文熟語集』との関係について

呂 麗 敏

一、はじめに

『袖珍・英和節用集』初編および『袖珍・英和節用集』第二編について、『袖珍・英和節用集』初編の「補充さらた訳語」(『百舌島国文』第一三三号。一九九七年十一月)と「明治初期通俗英語辞書の成立考——袖珍・英和節用集』第二編の場合——」(『甲南国文』第四五号。一九九八年三月)にて触れてきた。

そのさいに、『袖珍・英和節用集』第二編の名詞熟語を『英和对訳袖珍辞書』系の辞書にて調査してきた結果は、『袖珍・英和節用集』第二編の本文は『英和对訳袖珍辞書』の改正増補版(慶応三年版)に拠るものである。これに対して、『袖珍・

英和節用集』第二編の「追加熟語」の部分については、別の底本の存在がそこにあることが判明した。

そこで、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の部分について、更なる調査をし、拠っている新資料の発現に努めてきた。よって、「追加熟語」の部分は『英文熟語集』からの抽出であることに辿り着くことができたのである。

二、『英文熟語集』との比較対照

『英文熟語集』は慶応四年(一八六八)に刊行された日本で最初の英和熟語辞典である。

以下、その書誌を記す。

『袖珍・英和節用集』
第二編の「追加熟語」

『英文熟語集』

いの部 56語	A 6	B 7	C 4	D 3	E 1	F 4	G 3	H 3	L 6	M 2
	N 1	O 1	P 4	Q 1	R 1	S 5	T 4			
はの部 59語	A 1	B 5	C 3	D 2	E 1	F 2	G 4	J 2	K 1	L 9
	M 2	O 1	P 8	Q 1	R 1	S 4	T 6	U 1	W 4	
(注：“半時〔西洋ノ三十分時〕・Half of an hour”は無)										
にの部 18語	A 4	B 4	C 3	L 1	M 3	N 1	P 1	T 1		
ほの部 30語	B 1	D 3	H 3	M 1	N 1	P 7	Q 2	S 7	T 3	U 1
	W 1									
への部 13語	A 1	B 2	C 2	D 2	H 1	R 2	S 1	T 2		
との部 94語	A 8	B 6	C 3	D 2	E 4	F 3	G 3	H 8	I 1	K 3
	L 1	M 2	O 4	P 5	S 19	T 14	U 2	V 1	W 5	
ちの部 35語	A 1	B 7	C 3	D 2	E 3	F 3	H 2	I 1	L 3	M 2
	N 2	O 1	P 1	S 2	T 1	U 1				
りの部 15語	B 3	C 4	D 3	H 1	L 3	W 1				
ぬの部 3語	S 3									
をおの部 44語	A 1	B 10	C 7	F 1	G 4	K 4	L 1	M 1	P 9	R 3
	S 3									
わの部 16語	B 3	C 1	D 1	F 2	H 1	K 1	L 2	P 3	S 2	

題簽「英文熟語集 全」扉「小幡篤次郎、同基三郎纂輯
／英文熟語集／慶応四年 戊辰三月尚古堂発兌」。序末「慶応
四戊辰年三月／中津 小幡篤次郎識」。板心「丁付」。序文一葉。
本文八六葉。每半葉二四段有野。

1、今回の調査より、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の収録熟語数九一八語のうち、「はの部」の一語（半時〔西洋ノ三十分時〕・Half of an hour）を除き、全ては『英文熟語集』に拠っていることを明らかにすることができた。
それを表す実態は、左記によって示す。

かの部 19語	B	C	D	F	H	M	P	R									
	3	2	1	1	1	1	3	7									
よの部 12語	A	B	C	O	W												
	3	4	3	1	1												
たの部 32語	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	S	W			
	4	6	2	2	2	4	1	1	2	1	1	3	1	2			
その部 17語	A	B	C	E	F	H	I	K	L	O	R	S					
	5	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1					
つの部 18語	C	D	E	G	H	L	O	P	R	S	T	U					
	2	1	1	1	3	1	1	1	3	1	2	1					
ねの部 16語	A	C	D	G	P	R	S	T									
	1	2	1	1	3	3	4	1									
なの部 19語	A	B	C	G	H	L	M	P									
	4	3	3	2	3	1	1	2									
らの部 4語	A	B	C	S													
	1	1	1	1													
むの部 25語	B	C	E	F	M	N	O	P	S	T							
	4	3	2	3	1	1	3	2	4	2							
うの部 19語	B	C	D	G	H	I	J	M	P	S							
	2	3	3	2	2	1	2	1	1	2							
のの部 12語	C	D	G	H	P	V											
	2	3	2	2	2	1											
くの部 17語	A	B	C	F	H	M	O	S									
	1	4	2	2	1	1	1	5									
やの部 17語	B	C	E	F	H	M	S	T	U								
	2	2	1	3	1	2	2	2	2								
まの部 19語	A	B	C	E	G	H	I	K	L	R							
	5	1	2	2	1	1	1	2	1	3							
けの部 12語	B	C	H	I	M	O	P	Q	R	W							
	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1							
ふの部 36語	A	B	C	D	F	H	J	L	O	P	Q	R	S	T			
	2	3	1	1	3	2	3	1	4	2	1	3	7	3			
この部 27語	A	B	C	D	E	K	L	M	N	O	S	T					
	4	3	6	1	2	1	2	3	1	2	1	1					
えゑの部 12語	C	L															
	1	1															
ての部 18語	A	B	C	D	F	H	L	M	P	S							
	2	3	1	2	1	3	2	2	1	1							
あの部 18語	A	B	C	G	K	L	M	O	P	R	S						
	2	4	1	1	1	1	2	2	1	2	1						

さの部 19語	A 3	B 3	E 1	F 2	M 1	N 1	O 2	P 2	Q 1	R 1	S 1	T 1							
きの部 17語	A 1	B 3	C 2	E 1	F 1	H 1	L 1	M 2	O 2	P 2	T 1								
ゆの部 5語	B 1	C 1	L 1	R 1	V 1														
めの部 9語	A 1	D 1	H 1	T 1	R 2	S 2	V 1												
みの部 17語	A 1	C 1	F 2	G 3	H 3	L 2	O 2	P 1	R 1	S 1									
しの部 33語	A 3	B 4	C 2	D 1	E 1	G 1	H 1	L 4	M 4	O 1	P 3	R 1	S 4	T 1	U 2				
ひの部 33語	A 5	B 1	C 1	D 1	F 1	G 3	H 2	J 2	K 3	L 1	N 2	P 4	R 2	S 4	W 1				
もの部 14語	B 1	C 2	H 1	M 1	P 2	R 1	S 2	T 1	U 2	W 1									
せの部 18語	B 2	C 1	E 1	M 1	N 1	P 1	R 2	S 3	T 4	U 1	W 1								
すの部 11語	B 2	P 2	S 4	T 3															

(いの部)

以上のように、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の「いゝす」部の熟語がそれぞれ『英文熟語集』の「A-Z」項から何語つつを採録したのかを調べてきたが、その語彙の実態を示すため、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の全語彙をここで掲げることにする。

今一度丈ケ、勢付ル、锚ヲ投ル、锚ヲ起ス、戦ノ用意スル、何時デモ、一対ノ賽、偽ル、急テ告ル、命ヲ棄テテモ、淫遊スル、今暫時、一々、賤シム、一致スル (To close with)、一致スル (To come so)、厭フ、怒リ見ル、囲碁、一杯ノ茶、何時迄モ、意氣揚々トスル、違約スル、忌ヤナ目ニ逢フ、許テ替フ、一般ニ、入込ム、至ル、猶豫ナシニ、勢ヲ得ル、一日暮シスル、一所ニ寄セル、納置ク、言掛ラレル、活テ居ル人、詐ヲ言フ、賤シミ扱フ、詐ヲ微ハス、今一度 (Once more)、今一度 (As much more)、以前、イヤヤーナラス、一段下リ、怒ヲ鎮メル、怒ヲ起ス、今云フ所ノ、依頼スル、隠遁スル、射出ス、急テ仕舞フ、急テ着ル、怒ラセラル、

(はの部)

暇乞スル、一味スル、異見スル、戒シメル
 放ツ (To break loose) ' 離ス (To break a path) ' 廃スル (To set aside) ' 働ク、
 始メサス、離レル (To by out) ' 発スル (To come off) ' 掃終ル、嘶ヲ終ル、墓所、廃絶ノ語、
 流行病、甚ダ違フテ、離レル (To get quit of) ' 離レル (To get rid of) ' 放ツ (To let go) ' 張番スル、嘶ニ氣ヲ込ル、初カラ、早く
 家ニ帰ル、法外ニアル、離ス (To lay aside) ' 裸ニスル、始メル、廃スル (To leave out) ' 反対ノ意味テ、嘶シテ居ル、払ハズニ置ク、甚ダ僅ニ、放ツ (To make away) ' 甚ダ (By much) ' 反対シテ、発スル (To come to pass) ' 払フ (To pay off) ' 法度、法度書、拂取ル、恥ヲ与エル、発言サセル、払フ (To quite cost) ' 励シク云フ、拂取セル、法ニ外レル、番スル、励マス、運ブ、法ニ従フ、廃スル (To throw by) ' 放ツ (To turn out) ' 旗印ヲ善スル、旗色ヲ悪スル、半数、半時、働ク、励マス (To work up) ' 話ノ仕方、励マス (To

(にの部)

what on) ' 廃セララル、発言セス
 任ズル、二倍有余、二人差向ヒノ鬮、二付テハ、二拘ハリテ、日々、荷ヲ牽ク獸、脱ケル、荷ヲ卸ス、女王ノ婿、遁出ス、逃ケル、入港スル、人形、肉眼、賈セル、煎尽ス、肉食ノ獸、掘出ス、誉言、堀リコム、骨折ル、亡フ (To part with) ' 帆ヲ縫フ、帆ヲ充分ニ開ク、誉立ル、本陣、帆ヲ揚ケル、帆ヲ縮メル、帆ヲ下ス、帆ヲ掛テ、誉立ル、帆ヲ擴ゲル、施コス、外ニ出デル、骨折ル、誉ラレル、本氣デ、滅ス、外ニ、殆ト同ジ度デ、殆ト仕遂ケル、亡フ、本陣、殆ト、帆ヲ解擴ゲル、細声デ、補佐スル
 弁論スル、弁ゼシシテ明ナリ、片々、返納スル、平方尺、隔テル、返事スル、返答スル (To return answer) ' 返報スル、変ズル、返答スル (To turn on upon) ' 弁説スル、滅ラス
 取扱フ (To bear through) ' ドノ仕方ニテモ頓着セス、都府ヲ封ズル、トテモ、取巻ク (To cicle in) ' 遠ザケル (To cut off) ' 遠ザケル (To cut out) ' 取扱フ (To deal by) ' 時々ニ

(ほの部)

(への部)

(との部)

(Even and anon) 'ドレ位デモ、度々、乏シクナル、時々ニ (First and last) '飛出ス、届ク、取除ル、止メル、ドウカシタ訳デ、捕ヘル (To put the hand) '取扱フ (To wash the hand) '取付カセル、取巻ク (Tohem about) '閉出ス、同意スル (To hold to) '時計ノ針、同行スル、遠ザケル、同時ニ始メル、閉置ク、戸ヲ閉ル、ドウシテ見テモ (By all means) '途中デ、同意スル (To hold open with) '止メル、年毎ニ、同類ノ、ドウシテ見テモ (At all the points) '捕ヘル (To pu hand to) '整ヘル (To set to right) '時ナラズ、時ニ随フ、取除置ク、取片付ル、整ヘル (To set in order) '閉込ル、取除ル、同意スル (To take side) '閉キル、ト共ニ、年月ヲ送ル、飛掛ル、飛込ム、飛付ク、遠ザカル (To stand off) '取除ク (To strip off) '取除ケル (To take away) '取囲ム、取除ケル (To take off) '取ル、留メル、取出ス、共ニスル、取上ル、取立ル、頓着ナシニ、止メル、時トシテハ、同様デ、整ヘル

(ちの部)

(りの部)

(To draw up) '時ガ済ム、陶器、ドウシテカ、ドコニデモ、ドコデモナイ、取り込ム (To whip in) '解ク、ドウ見テモ、同様ノ働キスル、度々ノ詰リ、説キ明カス、年長ケ、年若、共ニ (Along with) '止ム、得心サセル、トテモ、溶ケタル酪、飛デ行ナガラ、飛去ル、取分ケテ、到着スル、得心スル、所ヲ極メル、直キ後デ、力ニ及バズ、力ノ及バザル所、散ル、血流レテ忤ヲ、漂ハス、地ヲ掘ル、乳ヲ離ス、近ク、知者愚人ヲ詐シル、近寄ル (To come near) '賃夫、縮ム、カヲ尽シテ、カヲ惜ム、治国ノ法、地面ヲ貸ス、地ニ投ル、近寄ラセス、誓フ、力一杯働ラク、近ク (In with) '近頃、カヲ込メル、カヲ興ス、カヲ極メテ、近寄ル (Nar to come) '近ク (Night at hand) '誓ヲ発スル、キヤンヲ流ス、近路スル、カトスル、縮メル、地ノ下デ、珍重スル、利ニ溺レル、理ヲ外レテ、陸路ニ、利ヲ懐フ、陸ヲ離レル、立方尺、立腹スル、流民、利ヲ得ル、陸地ヲ発見スル、陸地ヲ測ル、陸デ見失フ、

(ぬの部)

(をれの部)

利益ヲ取ル、流産スル、利ヲ起ス

縫留ル、抽出ス、縫ヒ付ル

表ニ、嬰掛ル、押シ崩ス、押シ遣ル、教込ム、

追返ス、嬰フ (To be upon the born)、押込ム、

押明ケル (To break open)、掟ヲ破ル、公ニ

スル、思ヒ出ス、送ル、送り出ス、追付ク、嬰

ウ (To come upon)、落付ク、押出ス (To

cruse out)、逐フ、押明ケル (To fly open)、

思ヒ切ル、公ニ告ル、思立ツ、大騒ノスル、落

付テ居ル、掟トナル、隠密ニスル、追遣ル

(To kech out)、終リ迄、恐ラクハ、穩カニス

ル、落付テ、追掛ル、追遣ル (To pass on)、

押除ル、押付ル、追返ス、思ヒ出サセル、追剥

スル、逐出ス、押出ス (To run out)、追散ラ

ス、落付カセル、穩カニスル

分ツ、廻返シテ与ヘル、分レル、訳ナク罪ヲ被

ラセル、態ト (Disign with)、和睦ノ旗ヲ揚ケ

ケル、我儘ニナル、和睦スル、横着ナル客、笑嘲

ケル、渡ス、渡、鳥、我物トスル、態ト (Of

purpose)、分訖ニ取ル、和睦スル

(かの部)

(よの部)

(たの部)

(その部)

加減シテ、傾ク、勝手ニ、隠レ傷ヨリ出ル、肩

ヲ並テ行ク、返ル、変リ易キ、改復スル、勘定

ヲ調べル、改正スル、改復ノ出来ス、賢キ仕業、

筒椽ニ、罫ヲ解ク、罫ヲ破ル、格別ニ、書留ニ

テ、勝手ニスル、駈ル、

用意スル、世々、用ニ適フ、宜キヲ失フ、善キ

約束スル、抑揚スル、呼返ス (To bring

back)、呼返ス (To call back)、ヨソムケル、

呼ビ出ス、用意ナシニ、好キ加減ニ

第一ニ、只今、丈ケ其丈ケ、誑カス、畳込ム、

短氣ニアル、段々ト善ク、確カメル、焚キ尽ス、

確ニスル、助ケル、達スル、楽シム、伊達する、

楽テ待ツ、譬ヘバ、抱込ム、戦フ、对阵スル、

焚立ル、旅支度スル、怠惰、戯レニ、互ニ近ク、

断食スル、貯ヘル、大概、保ツ、段々多ク、探

索シ出ス、他出スル、堪ヘル

其仄情置ク、而シテ其時ニ、其丈ケ遠ク、其通

リニ、其外ニ、外ト通りニ、謗ル、側近ク、備

エル、謗ラレル、其丈ケデ、側ニ置ク、其レニ

就テ、其日ニ、存意ヲ云フ、送迎スル、其ハ左

(つ)の部

様ラシイ

使ヒ果ス、罪スル、付キ纏フ、勉メル、(To exert one's self) 勉メル (To go about) 罪ナシニ、都合ヨク、着ケル、積ミ置ク、通常ノ借財、突倒ス、通義ヲ以テ、衝ク、統ク、突当ル、突キ起ス、突キ込ム、費ヤス

(ね)の部

狙フ、根ノナキ企、根強ク取ル、狙ヒ打、眠ル、根絶シスル、値ヲモツ、願フ (To put in for) 根ヲ卸ス、根ヲ絶ヤス、根ヲ抜ク、願フ (To seek to)、子ジ込ム、子ジ戻ス、根ヲ張ル、狙ヒヲ付ル

(な)の部

何モカモ。並ンテ、就中、尚ホ、難渋シテ居ル、形リ付ケル、嘆ク、投ゲ棄ル、内乱、仲間ヲ外ツス、等閑ニスル、馴染ム、投ゲ遣リニ、内心、難ヲ救フ、狎レル、情ヲ掛ケル、内密ニ、難儀スル

(ら)の部

獄ニ下ス、牢ヲ脱ケル、勞シテ功ナシ、勞スル六カシク思ハヌ、無理ニ脱ガス、無理ニ押入ル、胸ヲ明カス、無実ノ罪ニ陥ス、結合フ、向側ニ、向キニナツテ、無究ニ、向合テ、無法ニ突倒仆

(む)の部

(う)の部

ス、無理ニ投出ス、無造作ニ扱フ、無理ニ導ク、昔シカノ、向フニ、ムゴヒ目ニ逢セル、無理ニ押付ル、昔シヲ思フ、ムチャクチャニ、向ケ替ヘル、迎ヘル、迎ヲ遣ル、向直ス、ムチャニスル
疑ヒナシニ、疑ハヌ、受付ケヌ、受答スル、売渡シノ約束、疑ヒヲ釈ク、海ノ方ニ、埋メル、勤テ居テ、賣レ余ル、受取ル、敬フ、訴ヘル、打ツ、嘘言ヲ云フ、移ス、移リ行ク、動キ始めル、後口ムケエル

(の)の部

望ム、罵シル、望ンデ、暖簾ヲ捲ク、飲干ス、望ミヲ棄ル、吞込テ居ル、能弁ニ迷ハサレル、遁レル、延バス、望ミナキ、延シ出ス
組合フ、國ノ内外ニ、工夫ヲ棄ル、苦テ、碎テ取ル、偶然ニ、空ニ費ス、火薬ヲ込ル、愚ナル企、企テル、國ヲ発見スル、繰返シテ、外見ヲ繕ウ、委ク言ヘハ、位ニ即ク、國ノ法度、國ヲ領スル

(く)の部

(や)の部

約束スル、病ガ少シ快ヒ、屋敷ヲ分ケル、耶蘇教ニ変スル、役ニ立ツ、役ニ立タヌ、ヤツテ見

(まの部)

ル (To run the hazard) 、ヤッテ見ル (To make danger) 、夜具ヲ布ク、役ヲ務メル、安
ンズル、約ヲ違ヘス、ヤッテ見ル、矢玉ノ中ニ、
約束スル、役ヲ命ズル、瘦セル

任セル、全ク、全キ道、亦タ、迷ハス、負ケル、
迷テ覚ラス、交ヲ絶ツ、間近ク居ル、満足スル、
益々進ム、申出ス、益々、守ル、交ハル、待受
テ居ル、真直ニ、真直ニ向キ会フ、増ス

(けの部)

血氣ノ勇、刑スル、喧嘩ヲ指止メル、契約スル、
血統、決定スル、教法ノ事ニ属スル、消ス、喧
嘩ヲ好ム、欠員ヲ補フ、削リ落ス、輕漫ヲ示ス
普天ノ下、不確ナガラ、船ノ側ヲ超テ、腹心ノ
友、無事デ、吹透シノ場所、吹止ム、不意ニ起
ル、不快ニスル、ブラサガサセル、触テ知ラセ
ル、伏スル、布巾ヲ被フ、不礼ニ取扱フ、不凶
シタ故、腹臆ナク、不規則ニ、不愉快ノ時、不
意ニ仕掛ル、富貴、富国強兵、不平ヲ無クス、
復讐スル、富人、太クスル、武官、踏止マル、
符謀ヲ唱フ、不足スル、吹聴スル、拒グ、分配
スル、風邪ヲ受ル、符合スル、触合フ、脹ラス、

(ふの部)

事ヲ務メル、此所其所ニ、殊ニ、此割テ、心ヲ
苦メル、子ヲ孕ミテ、此ヨリ外ナラス、事ヲ設
ケテ、子ヲ孕ンデ居ル、事ヲ終ル、細ニ校正ス
ル、媚ビル、小躍スル、志ヲ失フ、心ヲ安ンス
ル、子ヲ棄ル、困ラセテ置ク、腰ヲ屈メル、事
を探索スル、事トモセス、此ノ手デ、心ヲ留メ
ス、狐疑シテ居ル、是レ彼ノ人、悉ク終リテ、
混雜シテ居ル、是所彼所
酔テ居ル、選リ分ケル、
出来ル、丁度一様ニ、手ヲ拍ツ、手伝フ、鉄ヲ
鍛フ、朝廷ノ威光、手ヲ引ク、敵ニ降ル、手強
ク始メル、手許ニ、手離シテ、手ヲ拍テ喜フ、
手輕ニ取扱フ、眺望スル、手ヲ出サス、手当ス
ル、帳面ニ書込ム、手短ニ
相扶助スル仲間、恰モ、相引ノ戦ヒ、愛ニ溺レ
ル、改メサセル、扱フ、崇メル、後ニナル、悪
人ト交ル、悪ニ誘フ、余リ多ク、或ル方便デ、
悪シク取ル、案外ニ、アチラコチラニ引ク、荒
果タル俛、跡ヲ追フ、悪口スル

(いの部)

(にゑの部)

(ての部)

(あの部)

(さの部)

相談スル、残金、再三 (Again and again) 、相

(きの部)

談済ム、才智ヲ用ユル、裁判所ニ呼出ス、財ヲ
惜ム、搜ガス、サワツテ見ル、策ヲ設ケル、再
三 (Now and now)、障リトナル、壮ンナル時、
妨ケル、相場書、財布ヲ払フテ、再三相圖スル、
搜シ出ス、幸ヲ失フ

氣ニ留ラス、急ニ告ケル、旧例ニ泥ム、極メテ
厚クスル、危難ヲ免レル、危難ヲ終ル、奥ニ乗
テ、急ニ駆廻ハル、氣促ニ染ム、氣ヲ挫ジク、
氣ニセズ、敵シク扱ハレル、氣配リシテ、氣六
カシキ、危難ニ赴ク、氣配ヲ休メル、氣ヲ引立
ル

(ゆの部)

免シ遣ル、免シヲ乞フ、勇ヲ振テ働ク、免サレ
ル、緩メル、

(めの部)

目ザス、目指シテ、面前ニ、滅スル、冥土ノ旅
スル、免許書、免状、明了ニ話スル、目ニ掛ル
路ヲ取違ヘル、密ニ言フ、見除ケテ、自ラ棄ル、
身ヲ抜ク、耳ヲ立テ聞ク、道ヲ明ケル、身ニ替

(みの部)

テモ、醜キ有様ニ居ル、身ヲ謹ム、道ヲ示ス、
身ヲ深クス、未熟ノ水夫、都ノ外レ、耳ヲ立テ
ル、見舞返ヘス、見込ニ困テ

(しの部)

十分スル、暫クシテ、終身、仕事ニ掛ル、忍ブ、
種々詮議スル、縛リ上ケル、自得スル、情ニ感
ズル、真像ヲ写ス、仕上ゲサセル、首尾能ク出
来ル、奢侈ノ暮シ、質ニ入レル、暫ク飢ヲ凌グ、
仕事ヲ休メル、書物ヲ見合セル、書簡ヲ封スル、
自身テ了簡シテ居ル、仕ウチヲ見届ル、仕事ヲ
余分ニスル、強テ暫ハセル、辛苦ヲ見テ、仕直
サレス、実地ニ施コス、借金スル、シメ出ス、
絞リ出ス、守護スル、仕掛ケル、メ切ル、熟練
スル、時節カ来タ

(ひの部)

久シク、弘メル、誹謗スル、廣ク布告スル、斉
シク、引受ル、斉シク分ツ、義性、非難スル、
非常ノ価ヲ払フ、拾ヒ集メル、日ヲ極メル、均
シクアル、廣キ候テ、久シキコノ方、密ニ笑フ、
人ヲ欺ク、畢竟、独リテ、人ニ弁解サセル、卑
怯ヲ示ス、引退ク (To give the place)、引退
ク (On one's own hook)、引受テ、人ニワル
サラスル、人ヲ殺ス、人ニ事ヲ隠ス、人ヲ見下
ル、人ヲ側ニ置ク、密ニ待ツ、人ニ付合フ、火
ヲ覆フ、引延ス

(もの部)

(せの部)

(すの部)

持傳ヘル、持堪ル、持来ス、漏ラス、勿論、黙スル (To hold one's peace)、目的、黙スル (To hold the tongue)、最下思フテ、用ユル、最早久シキ前ニ、求メル、用ユル、用ヒ来リテ詮議スル、穿鑿過ル、証文ニテ賈フ、精密ニ、世外ノ思、選挙ニ入レス、生来ノ假、席ヲアケル、穿鑿スル、セリ売スル、生スル、生長スル、承知スル、承諾スル、成功スル、攻寄ラレル、成人スル、全体

吸込ム、捨テル (To fight up)、働キ込ム、働キ出ス、少シ歩ム、救フ、吸ヒ込ム、吸ヒ出ス、吸ヒ取ル、捨テル (To throw out)、数度

そのうち、『英文熟語集』から『袖珍・英和節用集』に一英見出し語に対して一和訳語が選集されるのはほとんどであるが、一英見出し語に対して二語ないし三語の和訳が採集される場合もある。即ち、『袖珍・英和節用集』には、異なる見出し語に対して、同英訳語が現れてくることになる。

このことについて次節で述べたいと思う。因みに、『英文熟語集』の「A-Y」項の収録英見出し語数は、A (一八五)、B (三〇二)、C (三二五)、D (二五七)、E (七八)、F (一五四)、G (一〇二)、H (二六五)、I (四二)、J (二九)、K (五〇)、L (二〇五)、M (一九)、N (四七)、O (一五三)、P (二九四)、Q (一六)、R (一七三)、S (四〇七)、T (二〇七)、U (四八)、V (三八)、W (二四三)、Y (二〇) 語となっており、合計三四三六語になっている。

2. 『英文熟語集』の形態を分かり易く示すため、一頁分を原文通りに写すことにする。

A	
A.	
-- great while.	久シク、
-- number.	許多、
Able.	
to be --.	得ル、能ス、
Aboard.	
to run -- of another ship.	誤テ他船ニ觸ル、
About.	
-- and --.	周り周テ、
to go -- a thing.	用意スル、
to bring --.	出来ス、成就サセル、
to come --.	出来ル、起ル、
to be -- it.	事ヲ務メル、
-- here fore.	コ、ソコニ、
it is so -- us.	其事ハ我輩ニ於テモ左様ナリ、
six inches round --.	周圍六インチ、
round --.	全周ニ、
-- ten mile.	凡ソ十里、
Above.	
-- all.	畢竟、殊ニ、第一ニ、就中、
-- cited.	上文記載シテ、
-- our strength.	力ニ及ハス、
-- measure.	分外、

右記のように、『英文熟語集』の英見出し語は (A. Able. Aboard) などのような主見出し語と (great while. to be - to run - of another ship) などのような小見出し語からな

ており、総見出し語三四三六語に対して、主見出し語は八七五語で、小見出し語は二五五七語となっていて、それに、この小見出し語に対して、和訳は一对一での対応のものがあれば、そうでない場合もある。すなはち小見出し語に対して和訳は二語ないしそれ以上の語を以てそれに対応しているものもある。このような対応関係より『英文熟語集』の和訳は、単純計算で、二五五七語、即ち、小見出し語数以上になる。それはともかくとして、要するに、『英文熟語集』の小見出し語(本稿で『英文熟語集』の見出し語のうち、主に扱われる部分で、以下「見出し語」と称す)と和訳の一对多の対応関係で『袖珍・英和節用集』の異なる和見出し語の同英訳語の現象が作り出される土壌になっただけで、仮に、「見出し語」と和訳の關係が終始一对一对の対応係で『英文熟語集』を貸いても、「見出し語」と和訳の語数が二五五七語であり、それは『袖珍・英和節用集』の和見出し語九一五語より少なからず上まっていることになる。にもかかわらず、『袖珍・英和節用集』には、上に述べてきたような重複現象、即ち異なる和見出し語の同英訳語の現象を排除しようとしていないように思われる。

以下にそのような語(「重複語」と呼ぶことにする)を列挙してゐる。

『袖珍・英和節用集』第二編
の「追加熟語」

『英文熟語集』

①				
への部			A の Account 項	
弁説スル	To account for			
との部			to -- for	弁説スル、説キ明カス
説キ明カス	To account for			
②				
にの部			A の Agree 項	
任ズル	To agree to			
まの部			to -- to	任セル、一致スル
任セル	To agree to			
③				
ねの部			A の Aim 項	
狙フ	To aim at			
かの部			to -- at	狙フ、傾ク、勉メル
傾ク	To aim at			
④				
たの部			A の As 項	
丈ケ其丈ケ	As far as			
その部			-- far --	丈ケ其丈ケ、其丈ケ遠ク
其丈ケ遠ク	As far as			
⑤				
まの部			A の As 項	
亦タ	As well			
その部			-- well	亦タ、其外ニ
其外ニ	As well			
⑥				
たの部			A の Astray 項	
誑カス	To lead astray			
まの部			To lead --	誑カス、迷ハス
迷ハス	To lead astray			
⑦				
さの部			B の Bargain 項	
相談済ム	To strike a bargain			
ての部			To strike a --	相談済ム、手ヲ拍ツ
手ヲ拍ツ	To strike a bargain			

⑧

しの部
 仕事ニ掛ル To bear (a) hand
 ての部
 手傳フ To bear a hand

B の Bear 項

To -- a hand 仕事ニ掛ル、手傳フ

⑨

きの部
 急ニ告ゲル To beat an alarm
 いの部
 急デ告ル To beat an alarm

B の Beat 項

To -- alarm 急ヲ告ゲル

⑩

きの部
 極メテ厚クスル To bind up in
 すの部
 吸込ム To bear (bind) up in

E の Bind 項

To -- up in 極メテ厚クスル、親ク結フ、
吸込ム

⑪

との部
 止ム To blow over
 ちの部
 散ル To blow over

B の Blow 項

To -- over 止ム、散ル

⑫

うの部
 疑ハス To make on (no) bones
 むの部
 六カシク思ハス To make on (no) bones

B の Bone 項

To make no -- s 疑ハス、六ヶ數思ハス

⑬

むの部
 無理ニ脱ガス To break loose
 はの部
 放ツ To break loose

B の Break 項

To -- loose 無理ニ脱ス、障ヲ除ク、
放ツ

⑭

もの部
 持来ス To call forth
 よの部
 呼ビ出ス To call forth

C の Call 項

To -- forth 持来ス、呼出ス

⑮

よの部
 ヨソムケル To call off
 への部
 脱ゲル To call off

C の Call 項

To -- off ヨソムケル、脱ゲル

⑩

なの部
投ケ棄ル To cast away
つ部の
使ヒ果ス To cast away

⑪

むの部
結合フ To come into
くの部
組合フ To come into

⑫

たの部
慥ニスル To give effect
しの部
仕上げサセル To give effect

⑬

その部
備エル To fit out
たの部
旅支度スル To fit out

⑭

はの部
廃セラル To fum away
ふの部
不快ニスル To fum away

⑮

のの部
望ミヲ棄テル To give one's self up
をおの部
思ヒ切ル To give one's self up

⑯

との部
同行スル To keep company
まの部
交ハル To keep company

⑰

うの部
打ツ To lay about
ゆの部
勇ヲ振テ働ク To lay about

C の Cast 項

To -- away 投ケ棄ル、使ヒ果ス
漂流スル

C の Come 項

To -- into 結合フ、組合フ、一致スル
従属スル

E の Effect 項

To give -- 慥ニスル、仕上げサセル

F の Fit 項

To -- out 備ヘル、旅支度スル

F の Fum 項

To -- away 廃セラル、不快ニスル

G の Give 項

To -- one's self up 望ミヲ棄テル、
思切ル、讓ル

K の Keep 項

To --- company 交ハル、伴フ、
同行スル

L の Lay 項

To -- about 打ツ、勇ヲ振テ働ク、
腕ヲ振廻ハス

⑳

いの部
納置ク To lie by
しの部
仕事ヲ休メル To lie by

㉑

ての部
手当スル To take measure
さの部
策ヲ設ケル To take measure

㉒

きの部
気ニセヌ Never mind
この部
心ヲ留メヌ Never mind

㉓

ほの部
殆ド仕遂ゲル Near to come
ちの部
近寄ル To come near

㉔

はの部
発スル To come to pass
との部
到着スル To come to pass

㉕

もの部
黙スル To hold one's peace
はの部
発言セヌ To hold one's peace

㉖

あの部
荒果タル俣 In the rough
せの部
生来ノ俣 In the rough

L の Lie 項

To -- by 納置ク、休メル、
仕事ヲ休メル

M の Measure 項

To take -- 手宛ヲスル、策ヲ設ケル

M の Mind 項

Never -- 気トセヌ、心ヲ留メヌ

N の Near 項

To come or go -- to 近寄ル、
殆ド仕遂ゲル

P の Pass 項

To come to -- 発スル、到ル、到着スル
有ル

P の Peace 項

To hold one's -- 黙スル、発言セヌ

R の Rough 項

In the -- 生来ノ俣、荒果タル俣

㊶

まの部
増ス
ふの部
太クスル

To run up
To run up

㊷

むの部
迎ヘル
迎ヲ遣ル

To send for
To send for

㊸

をの部
落着カセル
穩カニスル

To set at ease
To set at ease

㊹

はの部
拂取セル
勵マス

To set forward
To set forward

㊺

ふの部
拒グ
しの部
シメ出ス

To shut out
To shut out

㊻

くの部
國ヲ領スル
位ニ即ク

To state it
To state it

㊼

はの部
施コス
すの部
救フ

To serve table
To serve table

㊽

との部
取囲ム
ちの部
縮メル

To take in
To take in

R の Run 項

To -- up 腫ル、突出ス、太クスル、
増ス

S の Send 項

To -- for 迎ヘル、迎ヲ遣ル

S の set 項

To -- at ease 穩ニスル、落着カセル

S の set 項

To -- forward 拂取セル、進メル、
勵マス

S の Shut 項

To -- out シメ出ス、拒ク

S の State 項

To -- it 位ニ即ク、國ヲ領スル

S の Serve 項

To serve -- 施ス、救フ

T の Take 項

To -- in 勝ツ、合点スル、取囲ム、
込メル、縮メル、欺ク、免ルス

③⑨

はの部
放ツ
せの部
成功スル

To lurn (turn) out

To turn out

T の Turn 項

To -- out 追出ス、放ツ、作ル、
違ハス、起キル、成功スル

④⑩

との部
時ガ済ム
しの部
時節ガ来タ

The time is up

The time to (is) up

U の Up 項

The time is -- 時節ガ来タ、時ガ済ム

備考：列挙するに当たって、原文の表記に努めた、但し、漢字の表記に〔変一事・留一留〕に直した、英字の表記に明らかに誤っている時に（ ）を用い、正しいつづりを付した。以下は同。

便宜上、順に通し番号を付けることにした。上記のうち②番（にの部）の「任ズル」には、何らかの誤解を感じざるを得ないのに対して、⑨番（きの部）の「急ニ告ケル」「急テ告ル」および⑩番（はの部）の「Near to come」（ちの部）の「To come near」には、いささかの恣意性を思わせるところであるとは言えるものの、これらの語を含めての重複語が相当な数に上るのは、興味を引くところであろう。

『英文熟語集』の和訳に対して、『袖珍・英和節用集』の和見出し語の取捨に際し、如何なる編集方針で導かれていたかを問われるところであるべきだと思われるが、何よりこれが編集者の判断、強いて視覚的な認識に委ねるところが大いなる所이다と強調できると思う、また、これに対して、二重あるいは三重とも言えるような現象が現れている。それにも注目されたい、以下にその実態を示す例を挙げてみる。

『袖珍・英和節用集』第二編
の「追加熟語」

①		
たの部		
第一二	About (Above) all	
この部		
殊二	Above all	
ひの部		
畢竟	Above all	
②		
との部		
取上ル	To take up	
取立テル	To take up	
せの部		
承知スル	To take up	

『英文熟語集』

A の Above 項

-- all 畢竟、殊二、第一二、就中

T の Take 項

To -- up

取上ル、買フ、始メル、捕ヘル、承知スル、非難スル、考ヘル、改正スル、占メル、引請ル、込メル、我物トスル、取立ル、請取ル、止メル

以上のような重複語について、単なる編集者の視覚的判断によるものだと説明すると、勿論、直ちに牽強附会の域に入ってしまうに違いない。むしろ、『袖珍・英和節用集』の性格から、編集態度より何らかの基準で、たとえ重複をしても、必要だとされた語を敢えて採り入れたとも考えられる。それについて、今回には問題としない、ここに問題にするのは『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の出所である。前に列挙してきた重複語は『英文熟語集』が『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の底本であることの一つの証明になることと考えたい。

3、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の部分の出所は『英文熟語集』からであると判断を下したい。それを疑わしい事実にならないために、さらに、重複語のほかに、裏付けになるような例を以下に列挙する。

『袖珍・英和節用集』第二編
の「追加熟語」

『英文熟語集』

①	ひの部 弘メル	At home and about (abroad)	A の Abroad 項 <u>At home and --</u> 國ノ内外ニ <u>To set --</u> <u>弘メル</u> 、評判スル様ニ
②	しの部 縛り上ゲル	To bind to	B の Bind 項 <u>To -- to</u> 約束スル <u>To -- up</u> <u>縛り上ゲル</u> 、束ル
③	はの部 離ス	To break a path	B の Break 項 <u>To -- a path</u> 無理ニ道ヲ明ケル <u>To -- away</u> <u>離ス</u> 、散ラス
④	ひの部 人ニ弁解サセス	Let him clear from danger	C の Clear 項 <u>To -- from danger</u> 危難ヲ免レル <u>Let him -- himself</u> <u>人ニ弁解サセル</u>
⑤	ちの部 直キ後デ	On the neck crop	N の Neck 項 <u>-- and crop</u> 十分ニ、全ク <u>On the -- of</u> <u>直キ後デ</u>
⑥	きの部 氣六カシキ	Out of the way	O の Out項 <u>-- of temper</u> 怒リ易キ、 <u>氣六カ鋪キ</u> <u>-- of the way</u> 道ヲ避ケテ
⑦	はの部 法度 法度書キ	Penal code Penal law	P の Penal 項 <u>-- code</u> <u>法度書</u> <u>-- law</u> <u>法度</u>
⑧	せの部 セリ賣スル	To sell by auctum	S の Sell 項 <u>To -- by auctum</u> 羅賣スル (列挙者注：auction は正)
⑨	いの部 異見スル	To take over	T の Talk 項 <u>To -- over</u> 談合スル、勘考スル <u>To -- to</u> <u>異見スル</u>

便宜上、例を順次に通し番号を付けた。『英文熟語集』は英和の形の配列になつてゐるのに対して、『袖珍・英和節用集』には、実際の内容は和英の形になつてゐる。編集に際して、

①番の (ひの部) 弘メル	To set abroad
②番の (しの部) 縛り上ゲル	To bind up
③番の (はの部) 離ス	To break away
④番の (ひの部) 人ニ弁解サセス	Let him clear himself
⑤番の (ちの部) 直キ後デ	On the neck of
⑥番の (きの部) 氣六カシキ	Out of temper
⑦番の (はの部) 法度	Penal law
法度書	Penal code
⑨番の (いの部) 異見スル	To take to

上のようにであるべきだが、目移りによつて、過ちを犯したところだと思わせる、と共に、コンピュータが無ければワープロも無い時代、一知識人の悪戦苦闘の姿を思い出させる。⑧番の(せの部)の(セリ賣リスル To sell by auction)は『英文熟語集』の誤つたつづりをそのまま踏襲したのも、また、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」部分は『英文熟語集』によりの断定を下せるの只好例と考えたい。

三、おわりに、

今回の調査により、『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」の部分は、慶応四年(一八六八年)に刊行された『英文熟語集』によるものであることが判明した。これで『袖珍・英和節用集』第二編について、内容的な書誌調査を一段落を告げることになる。

調査のうち、『英文熟語集』にない『袖珍・英和節用集』第二編の「追加熟語」のただ唯一の語である「はの部」の(半時〔西洋ノ三十分時〕・Half of hour)に関して、気になる。この語について、『英和对訳袖珍辞書』になければ『和英語林集

成』にもない、更に、『袖珍・英和節用集』第二編より一年遅れて刊行された『英和字彙』にも載せていなければ、『袖珍・英和節用集』初編の七〇%の出所になる『英吉利単語篇』系のものにも見当たらない。この語についての今後の語誌調査を行うと同時に課題として、『袖珍・英和節用集』初編および『袖珍・英和節用集』第二編の所収語彙の史的研究に進みたい。